

編集発行 根本校区地域福祉協議会

多治見市北丘町 1-13(根本 22 区区民館構内) Tel & Fax 0572-27-6605

200号発刊に際してお礼とお願い

会長 高橋 重久

記念すべき「ふれあいねもと・広報紙 200号」に立ち会えて感謝です。毎月の発行ですから「200号」を迎える迄にどれだけの多くの方が携わって来られたのでしょうか！

記事の出どころとなったイベントを計画、実施された方と参加された方、記事を書いて下さった方、編集された方、印刷された方、印刷された広報紙を町内会ごとに部数分けされた方、町内会住民宅に配布された方そして、これを読んで下さっている方々。

このように、皆様のご苦勞とご協力が積み重なって「200号」を迎えられたことを考えますと根本校区にお住いの「全員」の方が「ふれあいねもと」200号を作り上げたものと確信できます。

「ふれあいねもと」も、皆さんが安心して今の生活を続けられるよう、いろいろな支援をさせていただきますので、今まで以上の「ふれあい」が続けられるように皆さんからのご支援も宜しくお願いいたします。



ふれあいねもとでは

【子育て支援】3月6日 根本交流センター 親8人 子ども9人 スタッフ1名 その他2名
読み聞かせをしました。読んだ本は「サンドイッチ サンドイッチ」「どうぶつのおふろ」。そのあとで……

犬のおまわりさんの歌で人形劇をしました。アンパンマンの歌で手遊びもしました。最後は工作で、紙製にぎり寿司のできあがり…。

お母さんの膝に抱かれています子どもさんたちは可愛いですね。

ふれあいカフェ『ミモザでリース作り』3月16日 根本22区区民館



参加者27人 スタッフ6人

新型コロナウイルス対策のマスク着用ルールが緩和されるとの朗報のなかで、今月のふれあいカフェには大勢の皆さんが参加されました。

オーストラリア原産のアカシア(ミモザ)でリース(花輪)を作るという楽しい工作をしました。

ミモザの花言葉は、「感謝」「友情」「密かな愛」だそうです。



200号記念を祝して

社会福祉法人
多治見社会福祉協議会
会長 今枝 寛彦



このたび根本校区地域福祉協議会「ふれあいねもと」の広報紙が記念すべき 200 号を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

平成 18 年(2006 年)に根本小学校区に地域福祉協議会が設置され、長きにわたり地域住民の皆様による支え合い活動が継続して活発に行われていること、また、その間に運営に携わられた方々、活動に協力していただいた皆様の多大なご理解とご協力に厚く御礼を申し上げます。

さて、現在の地域を取り巻く福祉の問題は、認知症や老々介護といった主に高齢者の問題に加え、障がい児・者、ヤングケアラー、引きこもり、子育てといった立場や世代を問わず多岐にわたっています。

そして、こうした問題では、日頃の生活上のちょっとした声かけや助け合い、つながりの有無が、地域生活を維持することができるかに関わることも多くあります。

皆様がすでに実践されている生活支援サービスやサロン事業、健康講座 NIG などは、根本校区に住む皆様のつながり作りや健康、安心、安全につながり、誰もが願う「いつまでも住み慣れた地域で生活する」ということに大きく寄与しているものであり、深く敬意を表すとともに心から感謝申し上げます。

末筆ながら、今回この記念すべき 200 号発行にあたり、根本校区地域福祉協議会と地域住民の皆様の益々のご健勝とご多幸を衷心より祈念いたします。

ふれあいねもと200号までの歩みと・・・

ふれあいねもと
第2代会長 川本 紀男



200号が立派に発行され当事者として感激しております。この機会に設立以来根本校区地域福祉協議会「ふれあいねもと」がどのように歩いてきたか振り返ってみたいと思います。

当初から基本理念にある相談事業や高齢者支援等は熱心にやっておりましたが、設立以来6～7年経っても地域での知名度が低く、ふれあいねもとの活動を知って親しんで頂ける方法を模索しました。一例として支援活動等が一目でわかるように名前入りの赤いベストを作り活動時に着用して多くの人の目に触れるようにしました。

また、NIGねもと・いきいき・元気！と名付けた年4回の健康・介護予防講座を南姫包括支援センターの協力でスタートしふれあい事務所や22区民館に来てもらう機会を作りました。根本交流センターが出来てからは根本ふれあいフェスティバルの第1回からパネル表示やひまわりサロンの作品展示をしてPRに努めました。

次に、別の大きな動きとして「根本校区地域力向上推進会議」の設立があります。多治見市高齢福祉課の声かけで、小学校区を単位とした地域福祉能力アクションプランの策定および解決策を地域住民が主体となって取り組むことを市が協力支援する活動に参加することにしました。ふれあいねもとでは「地域力向上運動」を立ち上げ平成23年5月の広報で委員の公募を掲載し、6月応募委員42名によりプレワークショップを開催しました。以降アンケートの実施や4回のワークショップを開催し、平成24年5月地域力向上推進会議の第1回会合が開かれ6つのテーマグループの編成、役員会の編成と事務局の設置が決定され地域力はふれあいから分離しました。

このような活動が行えたのも校区内に常設、職員常駐の事務所があり市からの要請に的確に即応出来る**地域福祉協議会ふれあいねもと**があったからだ胸を張れます。

今後のふれあいねもとの問題点で最大のものは構成メンバーの高齢化です。支援事業についてはボランティアサポーターにかなり多くの方が応募して頂いて感謝しております。役員については会長は概ね2年毎に代わっておりますが、各事業部長は創立以来の方も活躍中で大半が80歳後半で新陳代謝が行われておりません。いくら本人がやる気でも老化は防げません。また、活動内容も時代に合わせ変えてゆく必要があります。若い力が必要です。ふれあいねもとの運営に力を貸してやろう、手伝ってみようという方がいらっしゃったら是非お願いしたいと思います。300号は紙か電子媒体か分かりませんが発行母体の**ふれあいねもと**がこれからも健全に運営が続くことを心から願っております。

広報「ふれあいねもと 200号」に寄せて

ふれあいねもと

事務局 鈴木 香苗



毎月みなさんのご自宅に届く「広報ふれあいねもと」は、身近なサロン活動や子育て支援情報などを取材し、まとめ、毎月1回発行しています。

ふれあいねもとが主催する“ふれあいカフェ”や“N・I・G(ねもといきいき元気)”は、コロナ禍で集まることが難しく人との関わりが希薄にならざるを得ない状況の中でも、開催方法や内容に配慮し、今日まで継続して来られました。

今後、コロナの影響も少しずつ大丈夫になってくれば、この3～4年間なかなか出来なかったみなさんで声を出して歌うこと、体を動かすことをもう一度取り入れていけたら・・・と前向きに検討しています。

これからも日々の生活の中で、ご不便なこと、困ったことがあったとき、身近な場所で相談し、助け合うことのできる“ふれあいねもと”の活動が末永く継続していくことを願っています。

又、サロン活動や地域の季節の行事などで、日々の生活を豊に彩る企画をスタッフ一同心がけ、活動していきたいと願っています。みなさまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。そして地域での活動に参加できる方を随時募集しています。ご興味のある方はご連絡をお待ちしています！

懐かしい！ふれあいねもとの行事

200号までのふれあいねもと主催行事の内、下記の3行事の参加者数を拾ってみました。

1. 子育て支援「読み聞かせ」

平成20年6月10日から児童センターにて開催。

平成25年5月から新築された根本交流センターの児童室に移り、「読み聞かせ」を中心に歌やダンスなど多彩な遊びで子どもたちに喜ばれています。

開催回数 116回 参加者数 3,201人
(大人1,425人 子ども1,776人)



2. N・I・G ねもと・いき・いき・元気！健康・介護予防教室



平成26年9月18日から開催された「健康・安全講座」として22区区民館でスタート。第1回の勉強会は、(株)アクトスの管理栄養士さんの講演会でした。「楽しく動いて、栄養バッチリ」。

その後、年4回きっちり開催され、講師は主に多治見市社会福祉協議会と南姫地域包括支援センターから来ていただきました。開催回数 37回 参加者数 1,034人

3. ふれあいカフェ

平成30年2月22日から開催されたふれあいねもとは、まだ新しい行事です。第1回は「宅配クック123」の試食会をやっていただきました。

その後、健康講座、お化粧品講座、交通安全教室、防犯教室、小物作り(手芸)、ふれあい体操会、ビンゴ、昔遊び・・・ポッチャなど「ふれあいねもと遊びの百貨店」になりました。

開催回数 37回 参加者 718人



4月のふれあいカフェご案内

日時： 4月20日(木) 10時より 場所： 根本22区区民館ホール

テーマ： 『避難訓練とDVDを使って 歌って 体を動かそう』

申込先： ふれあいねもと ☎ 27-6605 午前中をお願いします。

参加費： 100円 男性の方も大歓迎！ お一人様でも大丈夫です。



ふれあい朝市のご案内

3月と4月はお休みをいただいておりますが、いよいよ5月から発売開始！

開催日時： 毎月第3木曜日午前9時～ 開催場所： 根本22区区民館南側にテント

悪天候の場合は中止することもあります。お問合せ： ふれあいねもと ☎ 27-6605